



平成 28 年 7 月 25 日

各 位

会 社 名 久光製薬株式会社  
代表者名 代表取締役会長  
最高経営責任者(CEO) 中富 博隆  
(コード番号 : 4530 東京、名古屋、福岡)  
問合せ先 広報室長 園田 伸介  
(TEL 03-5293-1732)

**HP-3150 (経皮吸収型非ステロイド性疼痛治療剤) の  
腰痛症に対する国内第Ⅱ相臨床試験結果のお知らせ**

久光製薬株式会社(本社 : 佐賀県鳥栖市、代表取締役会長最高経営責任者(CEO) : 中富博隆、以下「久光製薬」)は、経皮吸収型非ステロイド性疼痛治療剤(開発コード : HP-3150、以下「本剤」)の腰痛症に対する国内第Ⅱ相臨床試験の結果を得ましたので、お知らせします。

第Ⅱ相臨床試験では、腰痛症患者を対象に本剤を投与した際の有効性、安全性について、本剤のプラセボと比較検討しました。その結果、有効性の主要評価項目で、本剤の有効性が確認されました。また、安全性に関して重篤な有害事象は認められませんでした。

本剤は、久光製薬の TDDS (Transdermal Drug Delivery System : 経皮薬物送達システム) 技術を用いて開発した非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs: Non-Steroidal Anti-Inflammatory Drugs) を有効成分とする全身性の経皮吸収型製剤です。安定した血中薬物濃度を維持し効果を持続させることで、腰痛症治療の新たな選択肢となることを期待しています。

本剤の開発につきましては、現在、がん疼痛患者を対象とした第Ⅱ/Ⅲ相比較試験を実施中です。

今後、平成 29 年度中の腰痛症患者を対象とした第Ⅲ相臨床試験開始を目指します。

以上